

平成28年熊本地震における支援活動に関するアンケート調査 より
皆さまから寄せられた「声」 (平成28年10月20日現在)

○被災地への思い、支援のあり方

・微力ではありますが、少しでも役に立つのであればボランティア活動に参加したいと思います。

・月日が過ぎるとだんだんと注目が薄れてくるので、しっかりした意識を持って継続したい。

・支援内容が当日割り当てのため戸惑う場面があった。同じ方が長期支援できれば現地でスムーズに動けよりよい支援ができるのではと思いました。

・何とかしたい、という気持ちを持って接すれば相手方にも通じることに気づきました。「困ったときはお互い様」という気持ちを持続させることが大切だと思います。

・自身が勤務している事業所も職員が多くない中で日々の業務を行っているが支援の要請があれば出来る限り協力をしたいと思っています。

・高齢の方のお宅で思ったのが、片づけができなくて衛生面の問題が対応できないと感じた。片付けの指示もうまくできないようで(混乱している様子)その辺を自治体が支援できると良いと思う。また、今後も、災害支援ボランティアの募集をしてほしい。

・様々な理由で避難所以外で避難生活をされた方も多くいらっしゃいました。そういった方への支援もしっかりと行政にもして欲しいと思います。

・ボランティア拠点としての宿泊支援、久留米は日帰りできて比較的安全な土地柄で水資源も豊富。災害に強い街かな？ 久留米温泉の補助とか。ゴムの街だけに長靴貸与とか、リサーチパーク等のバイオは何か技術が活かさないか？ 健康関連とか、医療分野とかいろいろと支援ができると思う。

・現地でうまく指揮出来る人材（ボランティアのプロ）の養成が必要だと思う。

・仕事の都合等もあり、なかなか被災地での支援活動ができない状況にありますが、その中で自分でも出来る支援とは何か？と考えた時に、熊本・大分両県の経済が潤うことが何よりと思い、物産品の購入であったり、落ち着いた頃に、観光等に赴く等が良いのではないかと考えています。
各人が出来ることをすることが一番の支援であると感じます。

・被災から時間が経った今、被災地で必要性が上がっている物資等、被災地・被災者からの要望をもっと周知されると良いと思う。

○災害ボランティア活動において大切なこと

・（助けてあげるという上から目線で接しないこと）自分の生活を犠牲にして、支援を行うと、相手に過度の負担を与えることもあるので。

・自分に無理せず支援を行うことが息長く続けるコツだと思います。

・実際行った先では一人暮らしの女性の方のお家にお手伝いに行きましたが、やはりボランティアと言っても知らない人が家の中に入るワケですから、最小限のことしか頼まれず「もう大丈夫」と言われたりします。

自宅に帰ってきて思うのは、もっとできることがあったのではという後悔です。お年寄りや一人暮らしの方は自分でできることも限られているので、押し付けがましくないようにあと一押し、二押しした方が良かったのかなあと自分にとっての反省点です。

○現地の状況

・家一軒が壊れているのにゴミの分別がとても細かかった。20人のボランティアで分けているのに時間がかかりはかどらなかった。

・5月初旬、益城町の高齢者アセスメントを行いました。殆どの家が被災しており、町の空洞化が始まるのではないかと心配しました。2日間で100件近く回りましたが、家に帰って片付けをされている方も、夜間は避難所に帰る、又家での盗難に備え車中泊する方を見受けました。
住み慣れた地域を離れるには、勇気が要ります。
いち早い仮設住宅の建設を、よろしくお願いします。

・施設の支援に行ったとき、毎度支援に行く方が変わりその都度相手側の職員に教えていただかなければならない事があり逆に申し訳なく感じた。

・私は施設職員として、支援活動に参加させていただきました。活動内容は福祉施設の生活援助を行い、その中で私が感じたことは、早期の支援（人、物資）が重要で、なおかつ、人的支援においては支援を受ける側、行う側の双方が連携し支援活動に取り組むことが特に重要なことではないか？と感じました。

被災状況下の中では受ける側は混乱し、何を優先し頼むべきかを迷われているように見えて、行う側は何をして良いか分からないような状況が何度かありました。

・ボランティアの方のモラルが問題。各ボランティア団体同士の縄張り争いのような状態があり、熊本の行政も手が出せなかった。行政は忙しくそれどころではなかった。

・ボランティア活動は待つことが常識だとは一定理解はするが、これは現地体制の混乱も一因であり、ここら辺を改善する仕組みを構築すればもっとスムーズな効果的な支援活動ができるのではないかと思います。

・被災地のどこで誰が何を必要としているのかわかり
アルタイムに把握できない。(本日必要なものが、
明日必要とは限らない)

・被災地の方がどのような支援を望んでいるのか
という事や、人によってやって欲しいことが同じ
ではないことがあり、困惑してしまったので、そ
こをしっかりと把握する必要があると感じた。